

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 協同福祉会	代表者	村城 正	法人・ 事業所 の特徴	老後や介護に不安を持っておられる高齢者やご家族の方に、施設や住み慣れた地域で、安心して暮らしていただくことを目指しています。
事業所名	あすならホーム二階 堂多機能型ケアホー ム	管理者	塚原 佳永		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	5人	人	人	人	人	14人	人	19人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	<ol style="list-style-type: none"> <li>利用者開始前の情報の共有。</li> <li>本人の目標を把握するためのアセスメントを行う。</li> <li>ケアプラン更新他、退院時など状況が変わったら、アセスメント更新をする。</li> <li>利用者が暮らす地域近隣の人共交流し、利用者の生活を知る。</li> <li>地域資源について知り、事業所だけでなく、地域で協力して支援する。</li> <li>自治体、他サービス機関、地域と連携して支援する。</li> <li>積極的に意見を出し合い、外部からの意見も取り入れて、事業所運営に活かす。</li> <li>職員が順次研修に積極的に参加し、質を向上するための知識を得る。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>以前よりも利用開始の情報共有はスムーズにできるようになってきている。</li> <li>振り返りの場がある時は発言し、思うところは述べている。 ・各担当を持っているので、アセスメントは大体できている。 ・実践した内容をミーティング等で共有できている。</li> <li>担当制になり、どこで更新すべきか理解できる職員が増えた。 ・状況が変わった時の更新ができていない</li> <li>全利用者の事は把握できていないが、ゴミの捨て方事等では関わっている。コロナの為交流は少ない。</li> <li>地域資源の学習会を行う予定でしたが、コロナ対応等で日程調整ができなかったです。</li> <li>地域の体操（長寿会）や集まりにいったあすならの学習会ができた。</li> <li>利用者や家族の意見を運営に反映している。クレームや意見があれば報告、相談し</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>情報共有はガルーンを使用しスムーズにできている。ミーティングに参加してない方との共有。</li> <li>本人の目標に向かって支援ができています。</li> <li>毎月の会議の際に全員で見直しを行い更新できている。</li> <li>買い物バス等を通じて地域の方々と交流はしている。</li> <li>利用者の状況に応じて本人・家族と相談し柔軟な対応が出来ていると思います。</li> <li>他のサービスや自治体の会議に参加できていない。</li> <li>クレームや意見があれば報告、相談し対応するようにしています。 ・何かあるたびに話し合いできていると思う。</li> <li>コロナの為地域との関係が薄い。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>新しい利用者のアセスメントは担当職員中心で早めに（1カ月以内）すべての項目を記入する。</li> <li>サービス記録表にケアプランが記載されているので意識して見ていく。</li> <li>支援変更や相談はガルーンを使用し報告して主任、サブリーダーを中心に決定して実行していく。</li> <li>まちかどネットの会や長寿会の体操に参加していく</li> <li>地域資源について知り、事業所だけでなく地域の方と協力して支援する。地域の方（ランチにきていた）とも繋がっていく。</li> <li>職員が地域学習会に参加していく</li> <li>積極的に意見を出し合い、外部からの意見も取り入れて、事業運営に活かす。</li> <li>研修で学んだことを活かしていい</li> </ol>

	9. 個人情報の管理は厳重に行う。	対応するようにしています。 8. スキルアップの研修に参加しています。 9. 前回よりも重要書類やファイル等保管場所に施錠はできている。後見人制度を利用される方はいなかったです。	・地域連絡会には参加できていない。 9. 身体拘束や虐待は行っていない。 ・個人情報の管理、保管場所の施錠は前よりできている。	事例を作っていく 9. プライバシーに配慮した声掛けをしながらケアをしていきます。
B. 事業所の しつらえ・環境	建物の中だけではなく、外回りも清掃して清潔を保つ。	・きれいに清掃はされていると思います。 コロナで施設の中にはあまり入れていない。	施設の中に入る事は少なかったが、きれいにされていると感じました。	利用者様以外の子供から高齢者まで、どなたでも出入りできる場所づくりを目指す。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の行事イベントに参加する。 (長寿会、健康体操等)	コロナで中止されることはあったが、体操等には参加できた。	コロナがどうなるかわからないが、地域の行事を行っていきたい。	引き続き、地域の行事イベントに参加する。 (長寿会、健康体操等)
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	事業所から地域へ出向いて、近隣高齢者の事、利用者が住む地域の事を知る。	上ノ庄の体操には参加されました。買い物バスは助かっています。	買い物バスがあって助かっています。	来年度より新築移転するので、地域へ出向いて、近隣高齢者の事、利用者が住む地域の事を知る。
E. 運営推進会議を活かした取組み	コロナ禍の為、事務局メンバーだけで会議を行い、書面で意見や情報を募り運営に活かしていく。議事録はメンバーに配布する。	家族の声や地域の声を聞いて対応されていました。	新築されるので、地域との関りを築いていってほしいです。	地域代表の方や包括支援センターの方にも書面で意見や情報を募り運営に活かしていく。議事録はメンバーに配布する。
F. 事業所の 防災・災害対策	事業所の防災計画を地域の人に知ってもらうために、防災訓練時に防災計画の学習会を行う。	消防訓練には参加させて頂きました。	避難訓練に参加させて頂いて、高齢者の誘導が大変なことがわかりました。	事業所の防災計画を地域の人に知ってもらうために、防災訓練時に防災計画の学習会を行う。